



日曜日の午前、散歩途中に立ち寄ったホテル、そのロビーが華やいでいた。

そして続々とエレベーターに乗り込んでいく人たち、このあとを追う。

到着したのは宴会ホール前であり、そこには入場を待つ多くの人の群れ。

居合わせた人に聞いてみると、婚約披露宴とのことであった。

好奇心にかられて会場の隅で暫しの観察（すこし厚かましいか）

人々が見守るステージ上で披露されたのは、新郎・新婦から各々の両親への挨拶であった。

新郎新婦は両親の前に膝まつき、両親は、その手を取り微笑んで言葉を返す。

「一生かけて必ず幸せにします」「ふつつかな娘ですが、よろしくお願いします」といった会話が交わされていたに違いない。

その後、両家の親族一同が同じステージに上っての記念撮影である。

このとき、新郎からの結納品の数々もお披露のために飾り棚に載せられていた。

そして最後は、ステージを見守っていた人も参加しての大宴会であった。（これにはさすがに参加できない）

「婚約したことまで、披露しなければならないならなんて・・・」と思うかもしれないが、これは、絶対ではない、とのこと。納得。